

まるおかじょうあと
5. 丸岡城跡

所在地：坂井市丸岡町霞4丁目
調査原因：範囲確認
調査期間：平成23年1月13日～1月25日
調査主体：坂井市教育委員会
調査面積：約10㎡
時代：近世～現代



位置図（S = 1/50,000）

調査の概要 天守西側の内堀に該当する場所で調査を実施しました。調査地は昨年まで病院が建てられていた場所で、市が用地を取得し、広場として整備するため、整備に先立って確認調査を実施しました。調査の結果、二の丸側の石垣は確認できず、建物の基礎等によってほぼ壊滅的なダメージを受けていましたが、一部で石垣らしきものが確認されたので、部分的に調査を実施しました。

遺構 石垣と思われる石積みの列を検出しました。場所は敷地の西側で、自然石を積んだ2段ほどが残っていました。石の大きさは大きいもので幅70cm程度、石積みの裏に河原石が詰められていました。石と石との隙間が大きく、粗雑な積み方です。南側の石積みには高さ約1mの切石を建てた部分があり、近隣住民の話ではこのあたりに排水口があったとのことで、恐らく排水施設の一部と考えられます。

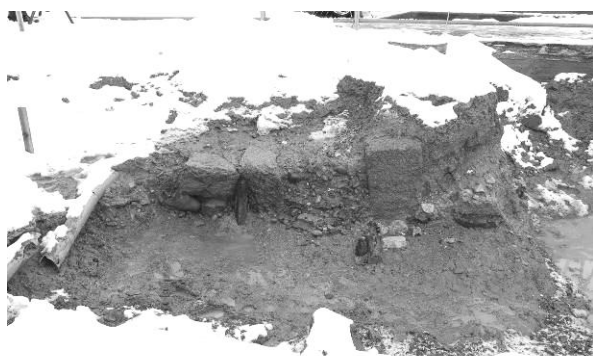
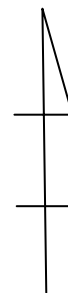
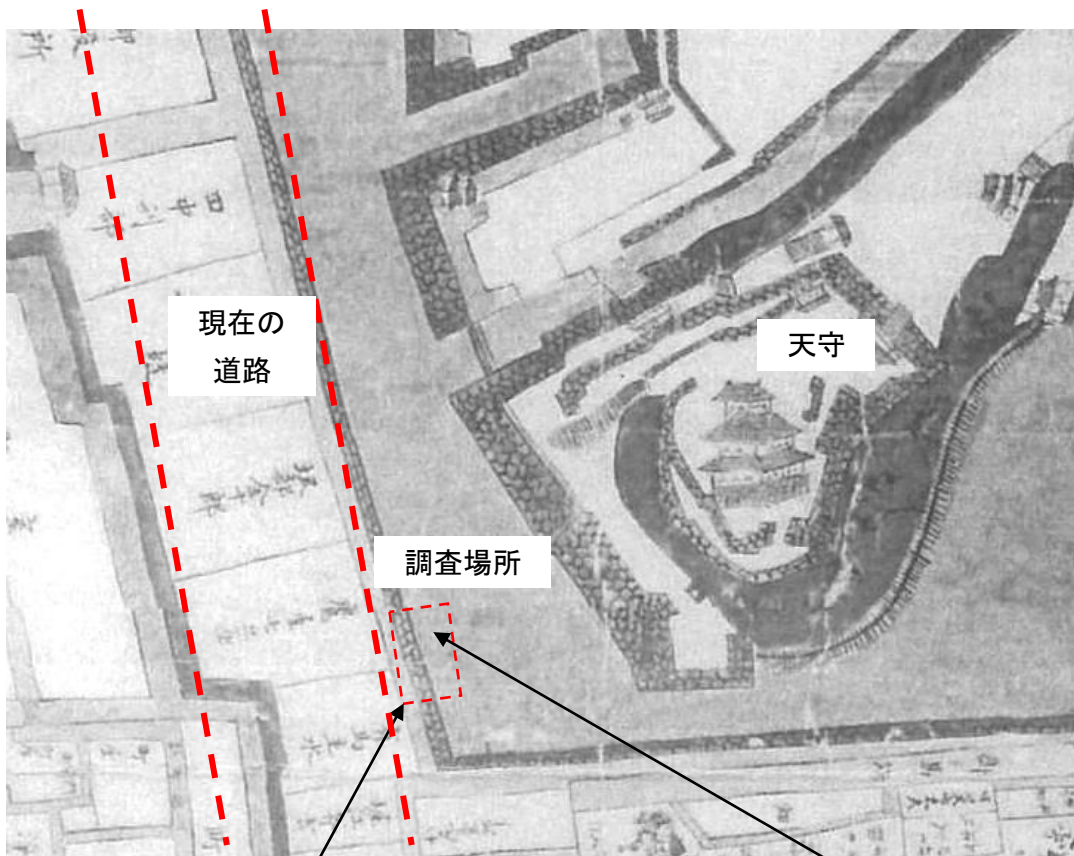
排水口の付近では木製の杭が2本残っており、排水口の施設の一部と考えられます。

石積みは現在の道路とわずかに斜めになっており、北側の石積みは道路の下まで伸びている可能性があります。

遺物 遺物は内堀内から出土していますが、全て現代の廃棄物でした。大正15年の銅銭が混ざっていたことから、近現代以降に埋められたことは間違いありません。

まとめ 確認された石積みは、絵図の描写ともほぼ一致しており、丸岡城跡の内堀の一部と考えられます。絵図によると、内堀の三の丸側は高い石垣は築いていなかったと思われます。排水口の切石を使用していたり、石積みの一部で石の積み方が異なったりしていることから、後世に修理されていると思われます。

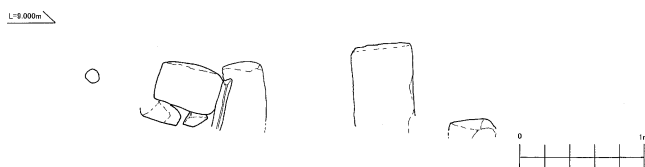
しかし、これまで丸岡城跡に関する詳細な調査結果は認められないことから、貴重な成果といえるでしょう。
(堤 徹也)



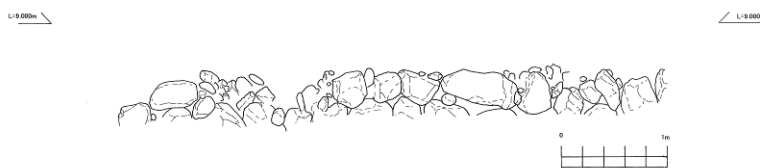
南側の石積



北側の石積



南側の石積み立面図



北側の石積み立面図